

株主・投資家の皆様へ



取締役社長 大塚 裕司

株主・投資家の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループの2003年連結会計年度(2003年1月1日から2003年12月31日まで)の事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度は、増収、増益となりました。売上高につきましては、3,443億77百万円(前年同期比6.2%増)となりました。セグメント別では、システムインテグレーション事業は、カラー複写機やパソコン、サーバの販売が好調に推移し、2,258億42百万円(前年同期比2.8%増)となりました。またサービス&サポート事業においてもオフィスサプライなどの通信販売事業「たのめーる」やサポート事業「トータルαサポート21」などの売上増により、1,166億65百万円(前年同期比12.9%増)と、好調に推移いたしました。

利益につきましては、新本社ビルへの移転費用や店頭販売事業撤退費用があったものの、営業利益92億21百万円(前年同期比15.4%増)、経常利益90億55百万円(前年同期比16.6%増)、当期純利益24億57百万円(前年同期比2.2%増)となり、経常利益は3期連続で最高益を更新しました。

当社グループでは今後も「ミッションステートメント」の具現化に努め、皆様の信頼に応えられるよう経営改革を進めてまいります。

次期の連結業績見通しといたしましては、売上高3,590億円(前年同期比4.2%増)、経常利益101億円(前年同期比11.5%増)、当期純利益60億円(前年同期比144.2%増)を計画しております。なお、当期純利益が大幅に増加する要因は、上半期に厚生年金基金の代行返上に関わる特別利益を見込んでいるためです。

株主・投資家の皆様にはより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2004年3月